

2022年度・第78回 都教組杉並支部・女性部 定期大会

・書面による大会成立・議案も採択されました

都教組杉並支部・女性部合同の定期大会は、減少しているとはいえ、新型コロナウイルスの感染を避けるため、組合員が一堂に集まることは適切ではないと判断し、今年度も開催方法は書面による開催となりました。7月5日(火)の第4回支部委員会では、この間返送された議案裁決表が組合員の過半数を上回り、大会が成立が成立したこと、及び議案も賛成が多数で採択されたことを確認しました。多忙な中、ご協力をいただいたすべての皆さんにお礼申し上げます。

全教・都教組
杉並支部ニュース

東京都教職員組合
杉並支部情宣部
2022年
7月12日
2号
Tel 3399-8719
Fax 3399-3855

支部ホームページ
<http://tokyusuginami.web.fc2.com>



スマホでHPをどうぞ

大会の文書発表から

教職員の増員を

教職員の増員を強く要望します！ 学校では人手が足りず、その分一人ひとりの教員がいくつもの仕事(校務)を同時進行で行っており、授業の準備は毎日深夜にやっています(休日も毎日仕事に追われています)。こんな状態では、本当に有能な人は教師を選ばず、教育の質の低下を痛感しています。(小学校分会)

産代がない！

間もなく産休に入る人がいるのに、産代がいません。大ピンチです。どこもそうだと思うけれど、みんな仕事に希望が持てなくて、やめちゃうからです。(小学校分会)

タブレットの予備がない

一人1台のGIGAタブレットの予備がない。転入生分どころか、卒業生より新一年生の人数が多いため、壊れているものを入れても1年生には全然

足りない。ICT担当教員がそんなことに時間が取られる。

タブレットPCを予備を含めて各校にきちんと人数分布できるように予算を付ける。ICT専門員のような人員を各校に一人配置する。(ICT支援員さんは、技術的なことから)(小学校分会)

再任用は現任校ではなかったの？

新規の再任用は、退職時の学校に残ることができると聞いていたのですが、3月に突然別の学校に異動を伝えられました。何でも、年数が長い再任用者はそのまま残らず他校へ移動するということが今年度から方向性が示されたのだとか。再任用は現職と同じ勤務できついで、非常勤も考えたいところですが、昨年は何人も落とされたと聞きました。色々不安です。でもがんばるぞー！(中学校分会)

来年度からの定年制どうなるの？

いつもありがとうございます。一つ質問です。来年度から定年が延長されるのでしょうか。その場合の立場や給与体系が

分かったら教えていただきたいです。よろしくお願ひいたします。(中学校分会)
※議案書経過報告、都教組ホームページをご参照ください。

生涯現役で貢献したい

再任用5年目の勤務を終えて、専門員として2年目を迎えました。67歳で仕事があることは、社会とのつながりも保つことができ、ありがたいと思っています。もっとアクティヴにさまざまなことに取り組みたいのですが、専門員の枠を超えてはいけない状況にもどかしさも感じています。生涯現役で地域や学校に少しでも貢献したいと考えています。(中学校分会)

パワハラ・部活・人事異動

私が専任時に感じていたのは、パワハラ、部活強要問題、異動問題です。部活問題については「強制はしません。本人の意見意向を優先・尊重して民主的に決めるよう要求します」を追加していただきました。異動については「1年でも本人の意向により異動が可能な要綱作成について働きかけていきます」という文面を加えたもらいたいです。方針案の構成については、「3安心して学べる」「4いのちとくらしを守る」をそれぞれ1,2にしてはどうでしょうか。検討をお願いします。(中学校分会)

杉並の新区長 岸本聡子さん

7月11日(月) 初登庁・職務開始

初登庁は自転車に乗って。大勢の区民の拍手で迎えられました。11時から初の記者会見。(区のホームページから見られます)



大勢の区民の出迎えに手を振る岸本さん



就任直後、初の記者会見に臨む岸本さん

どう考えてもおかしい

中学校英語スピーキングテスト結果を都立高校入試に使うなんて
活用の延期・見直しを求め、9月都議会に向けて再度請願署名

各中学校などで行われているスピーキングテストに反対しているのではありません。
スピーキングテストを「入試に使うこと」に反対しています。

8万人もの中学3年生の公平で客観性のある採点はできません

都は教育産業のベネッセと協定を結び、ベネッセはフィリピンの組織（詳細を都教委は開示せず）に委託し、45日間で採点することになっています。8万人もの生徒の、スピーキングの微妙な採点の仕方のすり合わせが、採点者（何人いるのかも不明）の間でできるとは思えません。

大学入試でダメと言われたものは、高校入試でもダメ

大学入試共通テストで、記述式とスピーキングテストの民間試験が導入されようとしたが、「採点の公平性を保障できない」ことから見送られました。
当然、都立高校でも中止すべきです。

不合理な「換算得点」

スピーキングテスト（ESAT-J）は100点満点で採点された後、右のように換算されます。100点と65点の35点差でも、65点と64点の1点差でも換算点の差は4点です。1点差で合否判定される入試にはふさわしくありません。

得点域	ESAT=J段階	換算得点
100~80	A	20
79~65	B	16
64~50	C	12

不受験者の扱い「入学選抜試験として成り立たない」

国立・私立・他道府県在籍者で都立高校受験者は、スピーキングテスト不受験者となります。都はスピーキングテストを伴わない2月の学力検査からスピーキングテスト推測点を出します。受験高校の英語同得点者約10人のスピーキングテスト換算得点の平均値を使うとしています。専門家からはこの方法について「入学選抜試験として成り立たない」と批判されています。学力検査得点とスピーキングテスト換算点の間に相関関係があるならば、そもそもスピーキングテストは不必要です。

調査点が「英語だけほぼ2倍」で良いのか

5教科（国語、社会、数学、理科、英語）で評価5を取ると調査書点は、1教科約23点です。スピーキングテスト20点（満点）が加わると英語だけは43点です。ただ1回、15分程度のスピーキングテストの結果を元に「英語だけ重視」で良いのでしょうか。

居住地域や家庭の経済格差が得点の格差へ

スピーキングテストESAT=Jにそっくりの、ベネッセ販売スピーキング教材GTTCがあります。現在9自治体が公費で購入した生徒が使用しています。こうした教材や塾などで経験を積んだ方が有利になる可能性が大いにあり、出発点から不公平な状況となっています。